

会 議 録

会議の名称		つくば市図書館協議会（第1回）		
開催日時		令和元年8月27日 開会 13:30 閉会 16:00		
開催場所		中央図書館2階集会室		
事務局（担当課）		教育局中央図書館		
出席者	委員	坏文雄、鷺田美加、武田直樹、鈴木もえみ、大澤彩子、小林忍、齋藤てる、金子真理、鴻巣哲		
	その他			
	事務局	門脇教育長、柴原館長、松浦副館長、豊島係長、玉木係長、今井主任		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
議題		令和元年度重点事業等について 令和元年度事業計画について 令和元年度蔵書点検報告について 平成30年度指標に対する実績評価について 平成30年度利用者満足度調査について		
会議録署名人			確定年月日	令和 年 月 日
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 教育長あいさつ 4 委員及び職員紹介 5 会長選出 6 会長あいさつ 7 議事 8 閉会			

<開会>

<委嘱状交付>

<教育長あいさつ>

猛暑の時期は過ぎましたけれども、まだまだ暑さが続いています。その中お集まりいただきありがとうございます。先程も図書館長と話をしていたのですが、会議室に入る前に図書館内をざっと見ましたら、夏休みということもあり20人位の学生たちが午後の分の席を取ろうと並んでいました。この状況を見ても、つくば市の中央図書館は絶対的にキャパシティが足りないと思います。

5月の半ばごろ、富山市で行われた全国都市教育長協議会に参加しました。その際に、富山へ行くなら絶対に行きたいと思っていた、評判の高い、富山市の新しい図書館へ行きました。10階建ての建物で、書架や閲覧席にゆとりがあって、1階にはコンサートができるスペースもありました。それに比べるとつくば市の図書館は、建物がなかなかモダンで良いですが、キャパシティが絶対的に足りません。私の見方では、キャパシティをはるかにオーバーする市民サービスをしていると思います。100パーセントをはるかに超える対応をしている訳ですけれども、現在のキャパシティでこれ以上の市民サービスをすることができるのかということとは心配です。

現在、この協議会の外に懇話会という委員会を開いておまして、方向性や目標等をまとめて10月に私に提出してくれるということです。その中に、つくば市はどうしても新しい図書館を作らなければならないというような内容が含まれているようです。それがいつなのか、時期の目途は今のところ立たないということです。

というわけで、しばらく市民への図書館としてサービスがなかなか思うようにいかないというような状況ですけれども、その中でも、どんなことをしたらより良いサービスができるか、良いアイデアがありましたらお出しいただき、御協力いただければと思います。よろしく願いいたします。

<出席委員及び職員紹介>

<会長選出>

<議事>

(1) 令和元年度重点事業等について

事務局：配布資料に基づき説明。

会長：元年度の重点事業を三つ挙げていただきました。図書館の在り方について、まず一つ目は、市民に愛される新しい市民図書館を作ることです。この一つ目の取り組みについて質問あるいは意見がありましたらどうぞ。

委員：昨年の11月24日に、つくば市役所会議室で、「図書館の未来のかたち—つくば市の図書館のこれからを考える—」という公開シンポジウムがありました。参加者が100人位いて、市民の図書館への愛情を感じるすばらしいシンポジウムでした。筑波大学図書館情報メディア系の呑海沙織教授が取りまとめをされていて、内容も非常に濃いものでした。まずつくば市のビジョンと図書館について毛塚副市長から講演がありました。次に呑海教授から、公共図書館とつくば市の図書館のこれからについて講演がありました。さらに、横浜市港北図書館の木下館長がいらっしゃって、地域を味方にする図書館づくりについての講演がありました。その後、参加した市民で「市民に愛されるつくば市図書館に向けて」というテーマで、50分間のディスカッションを行いました。50分間で終わらない位、活発に意見を出し合っていました。その後プレゼンテーションを行いました。内容も濃かったので、とても良いシンポジウムだと思います。このようなシンポジウムをどんどん開催すると良いと思います。

また、これは前回言えなかった意見なのですが、一つ提案があります。図書館主催でテーマを設定し、有名な方を講師として呼び出して、色々な人が集まれる講演会を開催すると良いと思います。以前、兵庫県の片田舎で、谷川俊太郎さんや工藤直子さんらの絵本の講演会がありました。大変不便なところにも関わらず遠方から大勢の人が集まりました。予算の関係もあると思いますが、

ビッグネームの人を呼ぶことによって、人が集まってくると思いますので、一つ提案させていただきます。そして、つくば市内に素晴らしい人材がいらっしゃるので紹介しようと思います。藤井いづみさんという方は、小澤征爾さんのお兄さんである小澤俊夫元筑波大学教授と一緒に、「昔ばなし大学」という市民大学講座をずっと開催されていらっしゃいます。藤井いづみさんは、つくば市でおはなしの語り実演や指導の講師をされています。他府県から電車を乗り継いで参加しに来る方がいらっしゃるくらい、おはなしの語りの有名な方です。あと、松井るり子さんという児童文学の方もつくば市在住です。ほるぷ出版などの絵本をたくさん翻訳されていて、今年岩波書店から出たアンデルセンの親指姫などの再話もされている、素晴らしい方です。あと、小野敬子さんという、新美南吉の研究を40年以上されている方がつくば市にいらっしゃいまして、全国各地で新美南吉の講演や語りをされています。半田市の新美南吉記念館で毎月1回お話をされています。今挙げただけでも、3人も素晴らしい方がいらっしゃるので、ぜひそういう方を呼んで講演会をしていただけたらと思います。

会長：この前のシンポジウムはどこが主催だったのですか。

委員：筑波大学の図書館情報メディア系です。でも、図書館の皆さんもいらっしゃって、共催ですよ。

事務局：はい、筑波大学とつくば市との共催です。

会長：講演会やシンポジウムをこれからも開催してほしいという話ですね。事務局としてはどう考えますか。難しいですか。

事務局：お話いただきましたように、港北区の木下館長のお話も大変素晴らしく、我々も頑張らなくてはと思いました。講演の後、その日初めて会った見ず知らずの人でグループを作りましたが、すごく活発に御意見を発言いただきました。元々シンポジウムに来ていただける方はそれぞれの御意見をお持ちで、前向きな方が大変多いということではあると思うのですが、それにしても短時

間で意見をまとめて、さらに、最初は2、3グループだけ発表してもらおう予定でしたが、結局全グループに即興でプレゼンテーションしていただきました。つくば市民の皆様への図書館に対する熱い思いが伝わってきて、また機会があれば開催したいです。大きな予算を伴うものでもございませんし、市民の皆様が直接意見を言える場所が少しでも多くあると良いと思いますので、このような企画については、前向きに考えていきたいと思っています。

先ほど3人の方を挙げていただきました。特に藤井いづみさんはおはなしの泉を主催されていますが、当館が平成2年に開館したその当時から今まで、おはなしの泉さんにはおはなし会を開催いただいています。毎週土曜日のおはなし会に当初は藤井先生も来ていただいて、何回か市民の皆様を集めてイベントをした記憶がありますので、またお声をかけさせていただきたいと思います。

委員：私は見落としてしまったのか、シンポジウムについて全然知らなくて、そんなものがあつたら是非参加したかつたら強く思っています。もし委員として何か勉強になるようなシンポジウムや講演会などがありましたら、FAXでも良いので教えていただけたらありがたいです。色々な情報がありすぎて見落としてしまうこともあるので、そういったものがあつたら御存知でしたら教えていただけるとありがたいのですが、お願いできますか。

会長：協議会委員全員に案内がいかんかつたのですか。

事務局：全員に案内状をお送りしました。しかし、三連休の中日だったものから、皆様のスケジュールが埋まつており、開催日についてはもう少し工夫が必要だというお話をいただきました。

委員：是非またあつたらよろしくお願ひします。

会長：私も思い出しました。私はその日、スケジュールがかぶつて行けませんでした。

小澤さんという方は、吾妻中学校の校歌を作詞した方ですよね。吾妻中学校の校歌はとても素敵な詞ですよね。そのほか、一つ目の重点項目に関して何か

御意見はありますか。

委員：つくば市図書館懇話会の活動は去年からですが、ライブラリーピクニックやつくばVAN泊など、すごく積極的に活動されていて、素晴らしいなと思っています。VAN泊は行けませんでしたのが、ライブラリーピクニックは木陰で飲み物を飲みながら本を読むことができ、良い感じでした。さらに、ペDESTリアンデッキを通る人で、図書館を目的にして来たのではないけれども寄って見ている人もいて、すごく和やかな感じでしたので、こういう新しいアイデアはすごく大事だなと思いました。

この春に、ニューヨーク公共図書館という長い映画を見たのですが、図書館というのは社会教育全般、赤ちゃんからお年寄りまで全部に開かれたものであって、いろんな引っかけができるような提案をしているというものでした。学生だけじゃなくて、赤ちゃんからお年寄りまで参加できるメニューが色々あって、ニューヨークの場合、公共図書館は完璧な公立ではなくて、館と寄付で成り立っているもので、柔軟な使い方ができるということが公立図書館とは違うとは思ったのですが、柔らかい頭をもって、市民に色々な示し方をしていくというのは、図書館の大事なところなのだと改めて思い、懇話会が設立されたのはすごく良いことだと思いました。

会長：懇話会に関してはその他の項目でも事務局の方から説明してもらいます。それでは次に、つくば市域における図書館間の連携強化について、何か御意見はございますか。

事務局：先程の報告にもありましたが、筑波大学の図書館とつくば市立図書館が連携をするために、協定のようなものを結んではどうかということになりました。連携するにあたって何をやっていくかということで、第1に挙げましたのが、相互貸借についてです。相互貸借という、つくば市の図書館を日ごろ御利用の方が、例えば土浦市立図書館にある本を取り寄せてつくば市の図書館で受け取ることができるというシステムがありまして、そのシステムの中に昨

年度筑波大学の図書館が入りました。要は筑波大学の図書館の本をつくば市立図書館に取り寄せることができるようになりました。しかし、物流の関係で、申込みをしてから2週間ほどかかります。車で5分、10分のところにある本を、わざわざ水戸経由で2週間かけて取り寄せる必要は無いのではということで、直接的な配送ややり取りができるようなルートを作ろうということになりました。

また、ライブラリーピクニックのお話もありましたが、例えば筑波大学の図書館の近くでライブラリーピクニックのように自動車図書館を活用して、学生さんにも市立図書館をもっと使ってもらうためにPRするなど、お互いの図書館をPRしてはどうかと、具体的な検討に入っているところです。当図書館には、専門的な資料や技術的な論文のオーダーもたまにありますので、筑波大学と直接太いパイプを作ることで、そういった要望にも答えられるのではないかと考えています。一方で筑波大学の図書館では、ここは小説がないですねとおっしゃる学生がいるそうです。そういうときは市立図書館を案内していただいているそうですが、そういったところでお互いのPRやもっとできるサービスがあるのではないかと考えております。

最終形としては、つくば市立図書館と筑波大学附属図書館という二者間ではなくて、「つくば市域」ということで、つくば市内にある、筑波学院大学や筑波技術大学などの図書館とも連携して、できればこの町中、行政が整備していただくだけでは補完しきれないところもあるので、今あるすばらしい施設と連携させていただいて、市民サービスの向上に努めたいという考えを持っております。その代表として、筑波大学の図書館と協議を始めたところであります。

会長：相互貸借は既にやっているけれども、さらに筑波大学などとの関係を深めていきたいということですね。では次に、コミュニティ棟における図書館サービスということですが、コミュニティ棟を御存知ですか。

委員：用事があってコミュニティ棟へ伺って、こんな素敵なスペースがあるの

だと知りました。ちょっと休んだりお茶を飲んだりしながら本を読めるので、お子様連れのお母様たちにコミュニティ棟をもっと告知してもらいたいです。ぶんちゃんもあそこでアピールしたら良いと思います。すごくきれいで清潔感があって素敵なのですが、あまり人がいなかったのもったいないと思いました。

委員：つくば駅の近くには中央図書館がありますが、子育て中の方の声を聞くと、研究学園にも図書館が欲しいという声が多く聞かれます。すぐに図書館を作るのは難しいと思うので、図書館がある代わりに、研究学園付近に日常的に本を読める環境や出張でいらっしやっただけの環境を整備できるとすごく喜ばれて、お子さんたちも本とふれあう機会が増えると思います。そういう意味で、コミュニティ棟はすごく使えるのではないかと思います。

現在、月に1回程度、ママのためのコンサートというものを開催しています。コミュニティ棟のキッズスペースを使ってやらせていただいたら、いつもと同じくらいの軽い告知だったにも関わらず、200名以上いらっしやっただいて、フロアにぎゅうぎゅう詰めでした。研究学園の付近はアクセスも良くて、気軽にいらっしやっただけで、人も増えているので、集客は困らないような施設だと感じました。コミュニティ棟のブックポストへ午後10時まで返却ができるのは本当にありがたいサービスだと思います。

先程大きなシンポジウムやイベントをとというお話をされていましたが、なかなか予算的にも大きいイベントを常時というのは難しいでしょうから、中央図書館のアルスホールを利用して、予算のかからないような小さいものを市民が交代で開催して、本に触れる機会を作れたら良いと思いますし、そういう意味でもコミュニティ棟を活用することはすごく良いのではないかと思います。

会長：場所は見当がつくのですが行ったことはないなので、積極的に行って見て来ましょうね。図書館的な立場から、もっとこうしてもらいたいという意見があったらお願いいたします。

委員：先日コミュニティ棟に行ったとき、たまたま本を回収しているところを見たのですが、結構たくさん本が入っていると思いました。皆さん便利に使っていらっしやると感じました。コミュニティ棟に除籍の本を置くと思っていたので、どんな本が置いてあるのだろうと心配したのですが、絵本も結構良いものやきれいなもの、スタンダードなものがあって、除籍本でも配慮して入れてくださったのだと思いました。

全域奉仕という意味では、つくば市で自動車図書館が頑張ってくれていますけど、やはり研究学園に少しでもそういうものができて良かったと感じています。中央図書館では学生さんが並んでいますけど、今の学生さんたちにはやはり勉強できるスペースが必要だと思うので、もっと利用してくれると良いと思います。実際に本を手取るかどうかは別として、本が並んでいる状態を見るというのも、本を読む動機付けになると思います。10代の子たちが、今は読まないかもしれませんが、ゆくゆくは、そういえばあんなのもあったなと思うような、刷り込みになる場所になれば良いと思います。

会長：つくば市は広いですからね。できれば、TXの駅に全部コミュニティ棟があれば良いですね。

事務局：コミュニティ棟に置かせていただく本について、除籍図書を配置とありますが、あくまでも除籍とは手続上の名称でありまして、実際には古い本や汚れた本ではなく、利用がまだまだ見込めるものです。中央図書館に副本としてストックしていたもので、導入当時よりは利用が落ちてきたけれど、まだ利用できる良い本を選んで、360冊程置かせていただきました。

ブックポストにつきまして、8月1日に、本庁舎の東総合案内の脇からコミュニティ棟へ移動したところ利用が増え、中にはあふれてしまう日もあります。コミュニティ棟の窓口を管理している委託業者の方にコンテナを預けて、あふれた時には回収してくださるようお願いしております。特にお盆明けは利用が多かったです。また、月曜日は図書館が休みであるためか、昨日昼間に行った

時もふたを開けると本が見える状態でしたので、かなり返却が増えていると感じました。逆に言うと、それだけ研究学園地区の方が中央図書館を御利用いただいている証拠だと思います。

先程ありましたように、子育て世代の住民の方が増えていますので、コミュニティ棟でのサービスを展開したいと思っておりますが、予約本の受取については、やはり新たに端末を置く必要があり、すぐに整備できません。その代わりではないですけれど、昨年まで市役所への自動車図書館を2週間に1度運行していたのを、現在は、曜日は違いますが毎週1回コミュニティ棟の脇にステーションを設けまして、サービスを少し充実させております。

(2) 令和元年度事業計画について

事務局：配付資料に基づき説明。

会長：管理係とサービス係から、年間の事業計画について説明がありました。特にサービス係の方は市民に見える部分ですから、しっかりやっていただきたいと思いますが、皆さんからは何かありますか。

委員：ぬいぐるみのおとまり会という言葉に興味津々なのですが、こういったイベントなのですか。

事務局：市民の方からぬいぐるみをお預かりしまして、図書館でおとまり会を開きます。子どもたちに好評でした。

委員：ほかの図書館で、夜の図書館おとまりツアーみたいなのをやっているところがあって、子どもたちを連れて行ったら面白いけど大変だろうなと思っていたのですが、ぬいぐるみでも同様の効果がありそうですね。

事務局：記載はしておりませんが、生涯学習推進課の事業で、乳幼児家庭学級というのがありまして、家庭教育の指導員の先生から要請を受けて、職員が交流センターや小学校などに行って、ファーストブック講座というのをやっています。本の楽しさや面白さをお母さんたちに教えています。

委員：インターンシップと職場体験は対象が違うのですか。

事務局：インターンシップは大学生です。

委員：何名位受け入れているのですか。

事務局：今年は3人です。

委員：狭き門ですね。中学生はどの位ですか。

事務局：1校当たり5人位ずつです。カウンターに出てもらって訳にはいかないので、本の配架を体験してもらおうようにしています。

委員：インターンシップの受入れや職場体験は、次世代の育成に良い機会だと思いますので、もう少し受入人数を増やしても良いと思います。

委員：つくば市立図書館の素晴らしいところの一つに、学校訪問ブックトークがあると思います。このブックトークで紹介されている本はとても良いと思うので、ブックトークで紹介された本を児童コーナー等で紹介すると良いと思います。1回聞くと子どもはすぐに反応するので、すぐに借りたいと思うのですが、その時に読めないと忘れてしまいます。紹介された本をもう1回見ると、あの時学校に来てくれた人が紹介してくれた本だなと思い出すと思うし、せっかく司書さんたちが頑張って素晴らしいブックトークを考えてくださるので、もう1回思い出すための一助として、表紙を並べて掲示する等工夫していただいて、つくば市の財産をもう少し活用していただければと思います。

(3) 令和元年度蔵書点検報告について

事務局：配付資料に基づき説明。

委員：教科書というのは、何の教科書ですか。

事務局：小学校や中学校の教科書もあります。子どもたちが勉強するために見ている、持って帰ってしまった可能性もあります。

委員：私の子どもは3年日本にいないで、外国にいたのですが、3人ともその期間の教科書がなくて、小学校と中学校に相談したら、購入してくださいということでした。3年分なので全部そろえる必要はなくて、例えば理科のこの単元だけ見たいなど、色々あったのですが、結局何冊か購入して勉強してしまし

た。もし小中学校の先生方が、教科書が図書館にもあると御存知だったら、図書館に行ってちょっとコピーさせてもらえば良かったです。

事務局：著作権の関係でコピーには制限があります。

委員：コピーは駄目なのですね。では、図書館で教科書が読めることについて、特にアナウンスはしていないのですか。

事務局：特別にはしていません。

委員：では知っていたら来られたのですね。

会長：教科書は無償給与ですが、無償と言ったって税金で購入しているわけで、学校に余っている教科書は無いんですよ。教科書が欲しければ指定の本屋で買うしかありません。無償だけれども自治体や国としては負担が大きいです。

(4) 平成 30 年度指標に対する実績評価について

事務局：配付資料に基づき説明

会長：目標値がありますが、これを算出する数式があるのですか。

事務局：特に数式を用いているものではございません。

会長：どうやってこの値を設定しているのですか。

事務局：平成 29 年度までの実績及び何を目指すのかということについては、実績や他市の図書館や同規模の図書館の実績等も参考に設定しています。既に達成している数値については、更に上乘せするような形です。

会長：わかりました。皆さんからは何かありますか。

委員：達成度が 100%になっているのはうれしいことですが、やはり評価のコメントが大事だと思います。例えば、つくば市や県南地域は人口が増加していますし、つくば市としての特殊性もあるかと思うので、コメントに、今後も増加の見込みがあるといった文言を入れていった方が良いのではないかと思います。

図書館では地域と人口動態を考えながら選書をされていると思いますが、つくば市は茨城県の中でも人口が増えている地域ですので、今後増えていく層に

合った目標値を設定することも必要だと思いますし、その辺のバランスは人口動態を見ながらやっていただけると良いかなと思います。人口と地域性は目に見えないものですが、そこを大事にして目標を設定していただければ良いなと思います。

会長：なかなか評価は難しいけれども、どこの達成度を重視するかというのが、協議会としての問題ですね。何か感じるころはありますか。

委員：ヨモッカの発行回数ですが、去年、年4回で十分でしょうという意見が出ており、本当にその通りだと思っています。そんなにハードルを上げる必要は無く、量より質で、今の発行回数で十分だろうという意見だったと記憶しています。そういう意見も出ているし、4回でも内容が良いので、私も十分だと思いました。より良くという意識の表れだと思うのですが、全体的に目標値が高いと思いました。

また、新規登録者数が達成度 100%超えていて素晴らしいと思いました。小学1年生に対して学校で利用カードを発行するというのがすごく良いアイデアだなと感心しました。さらに思ったのが、住民登録で市役所にいらっしゃった住民の方へ、図書館の説明を書いた紙を1枚でも渡すと、さらに良いと思いました。外国の方は図書館の存在を知らない方も多いと思います。小学校や中学校で外国人の生徒と接する機会が多いのですが、図書館の存在や場所を知らないで、それこそ住民登録にいらっしゃった時に、図書館の情報を英語等で書いたものを渡したらどうだろうと思いました。

会長：登録者数というのは、カードの発行数ですか。

事務局：そうです。

会長：今の小学生は皆カードを持っているんですね。

委員：持っていると思います。私も2年間つくば市の学校を離れていたのですが、その辺のシステムはわからないのですが、小学校に入学すると、学校の図書室に集まって、カードがあれば本を借りられるということを、クラスで説明しま

す。

会長：児童数に関しては、児童が増えれば図書館でも登録者が増えるということが良いですか。

事務局：そうですね。ただし、カードの有効期間が3年間です。カードの発行はもちろん強制ではございません。任意で申し込んでいただきます。小学校1年生になる前からお持ちのお子さんもいらっしゃいます。

委員：土日も午後7時までには開館を延長したり、祝日に特別開館したりしたけれど、なかなか来館者数が伸びなかったというのは、開館時間を延長しても夜に来る人が増えなかったということなのかを聞きたいです。今、ポイントカード類も子ども向けのかわいいものがありますね。例えば小学生だと、ぶんちゃんのカードがあると、図書館に来て自分で出したいと思うと思います。今のカードだとすごく事務的なので、子どもが自分のカードを出すのに、かわいいと思えるものを、大人と子どもで分けてみるのはどうでしょうか。ぶんちゃんの告知にもなると思うので、予算の関係もありますが、是非取り組んでもらえたらと思います。大人でもかわいいカードを選んでいいとなったら、私は絶対そっちを選びます。

事務局：土日の開館時間延長について、午後5時以降に3回、目視で人数のカウントをしているのですが、思ったほど多くありません。それが直結して貸出人数に反映するかというと、またそれは違います。7時までいられるので7時まで館内で御利用いただくという方がいらっしゃるということです。季節による日没の時刻の違いや、土曜日より日曜日の利用者が少ないことなど、そういうことも関係していると思われます。当初想定していたよりは、それ程利用が伸びなかったということがあります。1年間告知をしたので、開館時間延長については大分浸透しているのですが、それでもやはり、24万人の人口の割に登録率は低いと思います。我々も危機感を感じています。絶対的に利用される方が少ないのかなと思います。

ぶんちゃんについては、残念なお知らせがあります。つくば市のキャラクターとしてフックン船長がいます。今後は、市全体の取組みの中でキャラクターを一つに絞って、全面に押し出していきましょうという方針が決まりました。図書館を利用しているには、ぶんちゃんは親しまれていますが、つくば市としては、フックン船長で統一するということです。図書館の中でぶんちゃんを使用する分には良いのですが、外に発信する時にはぶんちゃんというキャラクターは出さないで欲しいということでした。カードの件は本当に素敵なアイデアだと思うのですが、ぶんちゃんを活用するということできません。

委員：女の子でフックン船長がキモカワで嫌だっという子が結構いますね。

事務局：小さい子は、実際に着ぐるみの近くに行くときちょっと怖くて、以前のツクツクの方が良いということなんですよね。ツクツクも色々著作権の譲渡がうまくいかなかったものですから、使用が難しくなりました。コスモ星丸の缶バッジを作った時は結構好評でした。図書館で期間限定のカードを作ったところ、登録者が殺到したという話も聞きましたので、今すぐには無理かもしれないですけど、図書館に興味を持ってもらう手段としては有効だと思います。

会長：つくば市は農業に従事している人もたくさんいて、軽トラ等で借りに来てくれると良いのですが、施設まで行く程ではないという人も多いです。団地等、人口が密集した都会に比べると難しいと思います。

委員：図書館の規模に対する貸出数でいうと、つくば市は県内でも突出して高かったような気がしています。

事務局：確かに統計的には県内トップです。私が先程申し上げたことについては、ハードユーザーが多いのではないかと思います。登録者数は少ないけれど、県内トップの利用数があるということは、お一人当たりの貸出冊数が多いということだと思います。

(5) 平成30年度利用者満足度調査について

事務局：配付資料に基づき説明。

会長：この満足度調査は何年度から行っているのですか。

事務局：平成 27 年度から行っております。

会長：平成 29 年度の 83%から 79%へ微減となっておりますが、過去 4～5 年どのような推移だったのかということを知りたかったです。

事務局：8 割は超えていたので、多分 81%程だと思います。28 年度と比較して 29 年度は微増でした。

委員：図書館のホームページで、何かテーマを決めて本を探すとき、テーマで検索できるので本当に重宝しているのですが、欲しい本が書庫にあるということがとても多くて、書庫は掘出物というか、宝物がいっぱいあるのだと思いました。書庫の本を手にとるとまだきれいだったり、とても内容が良かったりして、子どもたちにも読んで欲しい本なのに、書庫に 1 冊あるだけというようなものが結構見つかります。開架にするか書庫に入れるかというのは、誰がどのように決めているのでしょうか。

事務局：保存書庫にどういう基準で入れるかというのは、明確な基準はありません。配架の担当場所を 3 か月交代で決めており、毎日の作業で本の利用状況を把握し、動いていない本や貸出が少ない本について、全体のバランスを見たと書庫に移動しています。各自受持ちのところを、3 か月責任を持って管理しています。先程お話を頂いた、1 冊しかない絵本が書庫にあった事情はわかりませんが、良い本で複数冊所蔵していたい場合、1 冊は開架書架にあるのですが、配架スペースが足りないため、2 冊目からは書庫に置かせていただいて、御要望があればすぐ取ってくるという運用もしています。

委員：検索して見つかるという本がありますが、小学生とか子どもたちはそんなに家で検索しないですね。貸出が少なくても良書はあると思うので、検討していただけたらと思います。

委員：去年娘が、図書館に集合してつくば市について調べたのですが、「図書館ってどこ？」と言われてしまったことがありました。可能であれば、夏休み

前等にこどもヨモッカを配布して、図書館の説明をしていただきたいです。図書館の存在を知らない子どもが実際にいたので、心配になってしまいました。小学1年生の段階で周知して、中学1年生の段階でもう一度周知させるとかできませんか。

事務局：こどもヨモッカは夏休み前に小学校で、3年生、4年生に配布しています。

委員：ヨモッカは町内の回覧に入っているのので、見ていれば知っていると思います。

委員：広報つくばなどにお知らせが載っていますから、親御さんが広報をちゃんと隅から隅まで目を通されていれば、情報としてはありますし、結構スペースを取ってちゃんと載っていると思います。色々な周知の仕方があると思いますが、図書館の職員の皆様だけで全ての小学生へ周知するのは無理がありますよね。ですから、図書館の方から発信して、学校では学校図書館司書を通して、夏休み前の指導の一環として、学校の図書室の使い方の説明と併せて、市の図書館についてちょっとでも案内すると良いと思います。地域の交流センターで借りている方も結構いらっしゃいますので、そういうところでたくさん本を読めるということ、学校の先生が伝えることも必要です。学校図書館司書の方ですとか、そういった方々の力をお借りして、もっと啓発したり周知したりすると良いかと思います。私が勤めていた市では、管理職の会議の最初に、特にお願いしたいことについて、職員の方がいらっしゃって資料を配ってお話していただいていた。でも、図書への関心の強弱によって、反応する方と目に止まらない方がいたと思います。その中で、熱心に担当していらっしゃる方を通して、子どもたちにじかにふれあえる場所にいらっしゃる方にお手伝いいただくことも一つのルートとしてはあると思います。

委員：こどもヨモッカにはどこにも図書館の電話番号と住所が書いてありません。だから、これを初めて手に取ったら、市立中央図書館はどうやって連絡す

るのか、どこにあるのかがわかりません。毎回どこかに住所と電話番号などを入れると、図書館はどこにありますかと聞く子がいるかもしれません。

事務局：スペースの都合で省略しているのだと思います。基本的には、所在地と電話番号、ホームページの URL が必要です。

会長：市内の人でも、子どもたちには住所や電話番号を伝える必要がありますね。

所蔵資料の数や種類が、一番満足度が低いわけですが、これはやむを得ないのででしょうか。キャパシティの問題もあるし、人気図書は借りたい人が集中しますよね。全部の新刊書を5冊ずつそろえることはできないでしょうから、読みたいと思ってもいつも書架にはなくて、何日か待ってとということを繰り返すと、欲しいものが無いと満足度は下がるでしょうから、ある程度は仕方無いと思います。一つの新刊書は何冊購入するのですか。

事務局：前評判によって違いますが、中央図書館用としては1～3冊位、自動車図書館用は2台あるので2冊です。

会長：一斉に借りたいと言われたら足りないですよ。

事務局：確かに人気本は長期間お待ちいただくことにはなりますが、ハリーポッター100冊位買って逆に問題になってしまった図書館もあり、出版者や地元の本屋さんを守るという意味でも、あまり多くは買えません。

会長：おそらくこの71%というのは、借りたいときにすぐに手に入らないから付いた評価なのだと思います。

委員：芥川賞や直木賞の本は必ず順番待ち3番目とかで、2週間後や1か月半後に回ってきます。

事務局：一番人気が集中している本は半年から1年待ちになっています。

会長：今借りられないと、本が無いからこの図書館は駄目だという評価になりますね。

事務局：5人待ちだとお客様に苦情を言われます。ただ、御用意ができました

ら、すぐ連絡しますからお待ちくださいとお伝えするしかありません。

委員：2週間では読みきれなくて、返さない方もいますものね。

委員：130人待ちと言われたこともありました。順番が来ないので、何を借りようとしたか忘れてしまいました。

委員：有効回答数が少し少ないと思います。自由に用紙を取って書いてもらうせいかと思いますが、窓口に来た方に、できれば回答をお願いしますとお渡ししてしまっても良いと思います。継続するということは大変ですが、やった方が良いと思います。アンケートの時期が3月ですよね。夏休み時期は学生が多いと思いますし、さっき館長がおっしゃったように、日暮れが早くなればいる人の傾向も変わります。季節変動があるので、3月にやると決めたらずっと3月にやって、動向を見ていくのが良いと思います。

こういう調査は、回答した年代層のバランスの中での結果だということを理解してとらえた方が良いと思います。ヘビーユーザーが多いのであれば、それがどこの層で何を求めているのか把握し、芥川賞に飛びつく人のために本をそろえておくのかなど、方針を定めておく必要があると思います。やはり基本的に図書館は、全部に開かれているものでなくてはいけないので難しいと思いますが、スペースが限られているので、どこに重点を置くのが重要ですよ。新しい図書館ができるまではそれを考えないといけないと思いました。

会長：過去3～4年くらいの変遷がわかるようなデータも入れておいていただけると良いと思います。

(6) その他

事務局：図書館懇話会について、現在の進捗状況をお話ししていきたいと思います。ロードマップということで、どういう風に、いつまでに検討するかということをおあらかじめ話しておきまして、10月中には図書館懇話会としての意見をまとめた提言書を教育長に提出するべく、尽力しているところであります。

7月にも開催しておきまして、今週29日にも開催することになっております。

懇話会が立ち上がったときは、クレオに図書館が入るとしたらどういう図書館を作りましょうかという検討から入りました。議会でも議論をして、結果的につくば市がクレオを購入したり借用したりすることはなくなりましたが、懇話会を立ち上げたのに、その方向性が見えなくなってしまうということで、今あるつくば市の図書館資源を活用してどういう新しいサービスを提供したら良いかということに検討の方向性をシフトしまして、今御意見をいただいているところです。現状としては、中央図書館があって、4か所の分館的機能を持った交流センター図書室があります。それと自動車図書館が2台で、市内47ヶ所のステーションを2週間に1度巡回しています。こういったものを活用しながら、将来的にどうしようかというご意見をいただいているところです。

昨年度、図書館懇話会のメンバーで、オンライン化している交流センター図書室を視察しました。日程の都合で小野川は行けなかったのですが、それぞれに素晴らしい資源があるとわかりました。現在の図書室は本をお貸しするというサービスにとどまっているのですが、荃崎などは中央図書館よりも閲覧席が多く、周りの全体的な敷地のゆとりもたくさんあり、本を活用して、くつろぎの場やふれあいの場、新しい居場所作りができるのではないかという御意見をいただいています。同時に、自動車図書館も見ていただきました。豊里の杜の中にある公園にステーションを設けているのですが、緑と自動車図書館とがあり、非常に良い演出ができていて素晴らしいという御意見をいただきました。

そういったものを活用して、新しいサービスや居場所の提供ができないかという方向で議論し、3月に市の主催でつくばVAN泊というイベントに参加しました。文化会館アルスの北側の土地をお借りし、車のバンを改造したキャンピングカーなどを集め、カフェを提供したりパンを販売したりするイベントですが、その中に自動車図書館を置いてみようということになりました。その時は貸出しをしなかったのですが、自動車図書館の周りに椅子を配置したところ、自動車図書館を目当てに来た方ではなくて、通りすがりの方や、たまたま散歩

をしていたところで見に来てくださる方がいらっしゃって、本には人を引きつける力があると改めて感じた日でした。子どもたちが1時間位車の中で座り込んで本を読んでいた。普通の自動車図書館のサービスだと、1か所に40分しかおらず、学校へお邪魔しても昼休みの時間帯の15～20分の限りある時間ですが、その日は制約もなく子どもたちにも楽しんでいただきました。

その後も、図書館懇話会と中央図書館主催で、つくばフェスティバルの2日間に、ライブラリーピクニックというイベントを行いました。文化会館アルスの屋外展示場に車を横付けして、椅子を130脚並べて、コーヒーを持って来てもピザを持ち込んでも構わず飲食可という、図書館の新しい本の楽しみ方を提案させていただきました。1日目は筑波大の先生にジャズの同好会の方を呼んでいただきまして、ジャズを聴きながらコーヒー片手に本を読んでもらいました。また、当館の司書が、1日3回おはなし会を開きまして、子どもたち向けに紙芝居や手遊びをさせていただきました。2日目はジャズの演奏がなかったのですが、同様におはなし会を開きました。土曜日には定例のおはなし会を児童コーナーのおはなし室で開催していますので、それが終わったおはなしサークルの方をお願いをして、急きょ外でもやっていただきました。

その時にアンケート調査をしたところ、やはり「図書館ってこんなことできるの？」というような非常に好意的な御意見をいただきました。中にはペットを連れてきて犬のリードを引っ張りながら本を選んでいる方もいらっしゃいました。また、乳幼児を抱えているお母さん方は、子どもたちが図書館で騒いでしまったらどうしようと非常に気にしている方が多く、外であれば周りもがやがやしているし、そんなに気にせずゆっくり楽しめましたという御意見をいただきました。さらに、キャンプ用のテントを持ち込みましたところ、靴を脱いでテントの中でくつろぎながら、親子で本を読んでいる方もいらっしゃいました。それをふまえて、新しい居場所作り、サードプレイスを図書館はもっと積極的に提供していきましようということを盛りこんで提言書を取りまとめていま

す。

あと図書館に求められているのは、課題解決型図書館といいまして、例えばスタートアップに際し新しく仕事を起こすのに図書館で色々な資料を集めて、つくば市で事業を起こしていただくなどの取組があります。児童サービスはもちろんのこと、高齢者向けに例えば認知症の方やその御家族の方向けの資料をそろえるなど、ありとあらゆる世代の方に御利用いただく取組もあります。サードプレイスと、課題解決型図書館の二点について、我々はどうすべきか、今ある資源を活用して何ができるかということについて御意見をいただいています。

また、広いつくば市に5つの拠点しかないことが課題に挙がっています。つくば市の地図に、中央図書館を中心とした半径5km、谷田部交流センターを中心とした半径5kmの円というように、サービスポイントを中心に円を書いていくと、つくば市の西部、旧大穂町の西側と豊里町がすっぽり円から外れてしまうので、ここにも拠点が必要ではないかという御意見が出ています。今すぐに新しい図書館を建てるとするのは難しいかもしれませんが、長期の視点で考えて、目標を固めていかないといけないというところです。懇話会として提言書をまとめるのであれば、新しいものが必要であるということを入れるべきだという御意見も頂戴しているところであり、まだ内容は固まっていないのですが、10月の提言書の提出に向けて作業をしています。

会長：提言書という冊子を作るのではなくて、誰が見ても楽しくなるようなイメージでのしおりのような感じで作ることを考えています。

ライブラリーピクニックは良かったですよね。この公園全部がライブラリーのような感じになり、自然な感じで本を読めたりお茶を飲めたりして、発想がだんだん変わっているのだと感じました。筑波大学に新しくできたカスミがあるのですが、周りの芝生とカスミが一体化していて、新しい図書館を作るならあんな風に作りたいと感じました。協議会は協議会で色々な意見を出してもら

えればと思います。最後に何かありましたらお願いいたします。

委員：昨年 11 月 24 日のシンポジウムに私も出席し、本当に貴重な勉強をさせていただき、ワークショップに参加できて良かったという思いでいました。皆さんの話に出てきたいくつかは、もう既にされていることもありました。コーヒーを飲みながら外で本を楽しめるということも、そのような御意見を生かしているのかと思います。私ももっと図書館のことを知らなければならないと思いました。

今回、筑波大学との協定を結ぶということについては、つくば市ならではの、つくば市でしかできないことで、非常に期待をしています。相互貸借が 2 週間かかってしまうというお話がありましたが、そこを飛び越える柔軟な内容を盛り込んで協定を結んでいただければ、こんなに良いことはないと思います。

そして、連携するためには、そこで動く人が必要になると思います。例えばボランティアでも、コーディネーターという名前を付けて、許可書のようなものを持って大学の図書館に行くと、相互貸借の本を受け取ってすぐにこちらに持ってこられるといったように、すぐに動ける人を活用することによって即日貸出もできる可能性があると考えながら参加しておりました。そういったことも柔軟な発想のもとで進めていただけたら良いかなと希望しております。

委員：大学との協定をつくば市全体に広げていくということについて、筑波学院大学の図書館を使わせていただく話についても、とてもすてきな空間なので大々的に周知して欲しいと思います。

<閉会>

令和元年度第1回図書館協議会次第

令和元年（2019年）8月27日（火）

午後1時30分～

中央図書館2階 集会室

1 開 会

2 委嘱状の交付

3 教育長挨拶

4 委員及び職員の紹介

5 会長挨拶

6 議 題

- (1) 令和元年度重点事業等について
- (2) 令和元年度事業計画について
- (3) 令和元年度蔵書点検報告について
- (4) 平成30年度指標に対する実績評価について
- (5) 平成30年度利用者満足度調査について
- (6) その他

7 閉 会

つくば市図書館協議会委員

任期：2018年7月1日～2020年6月30日

(順不同)

	氏名	任命区分	備考
1	坏 文雄	学識経験者	
2	鷲田 美加	学識経験者	
3	武田 直樹	学識経験者	
4	鈴木 もえみ	社会教育関係者	
5	大澤 彩子	社会教育関係者	
6	杉浦 浩	社会教育関係者	
7	小林 忍	家庭教育関係者	
8	齋藤 てる	家庭教育関係者	
9	金子 真理	家庭教育関係者	
10	鴻巣 哲	学校関係者	新任 任期：2019年7月1日～2020年6月30日
11	花沢 紀子	学校関係者	

令和元年度中央図書館重点事業

1 これからのつくば市立図書館の在り方について

市長公約により、平成 29 年度から市民に愛される新しい「市民図書館」を作るための、多世代多分野の代表からなるプロジェクトを開始した。平成 29 年度は、Web や庁内イントラでの意見を募集、並行して庁内のメンバーによる検討会議を開催し、つくば市の図書館の現状と課題について協議した。

平成 30 年度は、この結果を基に「つくば市図書館懇話会」を設置し、懇話会を 5 回開催し、これからのつくば市立市民図書館の在り方等について協議を行った。

今年度は、懇話会において引き続き協議を進め 10 月に教育長あてに提言書を提出することを予定する。

2 つくば市域における図書館間の連携強化

つくば市域に所在する図書館の、それぞれの情報、資源及び活動成果等の交流を促進し、かつ、連携してその活用を図ることにより、相互の持続可能な発展と充実に資することを目的として、連携協定を結ぶ。

筑波大学図書館とつくば市立図書館の間で協定を結ぶための協議を進め、今年度中に両者間で協定を締結し、将来的には協定の範囲をつくば市域全体に広げていくことを計画する。

3 コミュニティ棟における図書館サービスの提供

市役所コミュニティ棟が新たにオープンすることに伴い、1 階のオープンスペース及びキッズスペースに図書館の除籍図書を配置し、市民の利用に供する。

また、市役所庁舎に設置しているブックポストを午後 10 時まで開館しているコミュニティ棟に移設し、図書館利用者の利便性の向上を図る。

さらに、コミュニティ棟における予約本の受取りについても、実現に向けてコミュニティ棟 1 階の管理主管課である文化芸術課と協議・検討を進める。

令和元年度事業計画（事業・業務予定表）

つくば市立中央図書館

月	業 務 予 定			
	管理係		サービス係	その他
4月	・アルス協議会 ・第6回（平成31年度第1回）図書館懇話会（26日）	・前年度利用統計集計業務 ・資料費配分決定 ・選書、発注、受入れ（通年）	・ジュニア図書館員企画検討 ・団体貸出業務（通年） ・相互貸借事業（通年） ・図書返却事業（通年） ・不用図書の選定、梱包（1月まで随時） ・見学、職場体験受入れ（通年） ・おはなし会（通年）	・広報6月号締切り（12日） ・ホームページ掲載（随時） ・6月勤務割振表配付
5月	・アルス協議会	・小学校等新入生新規カード作成 ・新聞廃棄（廃棄年度3・4月分） ・「こどもヨモッカ」第12号、「ヨモッカ」第13号発行準備	・夏休み図書館閲覧席利用広報準備 ・蔵書点検準備 ・インターンシップ受入決定	・広報7月号締切り（15日） ・7月勤務割振表配付
6月	・アルス協議会		・特別整理期間（11日～14日） ・蔵書点検実施（中央図書館 11～14日）	・広報8月号締切り（14日） ・8月勤務割振表配付
7月	・アルス協議会 ・第7回（令和元年度第2回）図書館懇話会（30日）	・新聞廃棄（廃棄年度5・6月分） ・「こどもヨモッカ」第12号発行、学校配布（夏休み前）	・調べ学習のワークショップ 図書館マスターへの道「だれでも自由研究！」実施（27日） ・ジュニア図書館員募集、実施（31日）	・広報9月号締切り（12日） ・9月勤務割振表配付
8月	・アルス協議会 ・第1回図書館協議会（27日） ・「つくば市の図書館概要」発行 ・第8回（令和元年度第3回）図書館懇話会（29日）		・学校訪問ブックトーク希望校募集 ・ジュニア図書館員実施（4・10・28日） ・科学フェスティバル出展準備 ・学校訪問ブックトーク準備 ・自動車図書館後期日程広報準備 ・インターンシップ受入れ ・中学生職場体験受入れ ・「ヨモッカ」第13号発行、区会回覧（1日）	・広報10月号締切り（17日） ・10月勤務割振表配付
9月	・アルス協議会 ・第9回（令和元年度第4回）図書館懇話会（予定）	・新聞廃棄（廃棄年度7・8月分）	・読み聞かせのためのワークショップ（3日） ・自動車図書館後期日程通知（小学校・義務教育学校・保育所・児童館） ・不要図書リサイクル事業（公共施設向けリサイクル）（10日） ・芸術をゲームで遊ぼう！（23日）	・広報11月号締切り（13日） ・11月勤務割振表配付
10月	・アルス協議会 ・第10回（令和元年度第5回）図書館懇話会（予定）		・学校訪問ブックトーク（～12月） ・年末年始休館に伴う特別貸出広報準備 ・冬休み図書館閲覧席利用広報準備 ・不要図書リサイクル事業（本のリサイクルコーナー開始）（19日） ・ぬいぐるみのおとまり会（25・26日） ・World week（29日～11月3日）（世界を知るワークショップ（11月2日）、世界のゲームで遊ぼう！（11月3日））	・広報12月号締切り（15日） ・12月勤務割振表配付
11月	・アルス協議会 ・第2回図書館協議会（予定）	・新聞廃棄（廃棄年度9・10月分） ・「こどもヨモッカ」第13号・「ヨモッカ」第14号発行準備	・科学フェスティバル出展（16・17日） ・次年度自動車図書館巡回コース及び日程検討	・広報1月号締切り（15日） ・1月勤務割振表配付
12月	・アルス協議会	・次年度購入雑誌検討（～3月） ・「こどもヨモッカ」第13号発行、学校配布（冬休み前）	・不用図書リサイクル企画、広報準備 ・リサイクルに伴う特別休館、貸出し広報準備 ・次年度インターンシップ受入れ決定 ・ぬいぐるみのおとまり会（6・7日）	・広報2月号締切り（13日） ・2月勤務割振表配付
1月	・アルス協議会 ・次年度会計年度任用職員募集	・新聞廃棄（廃棄年度11・12月分）	・ファーストブック講座企画、広報準備 ・春休み図書館閲覧席利用広報準備	・広報3月号締切り（15日） ・3月勤務割振表配付
2月	・アルス協議会 ・第3回図書館協議会（予定） ・次年度会計年度任用職員選考	・雑誌配架場所変更 ・「ヨモッカ」第14号発行、区会回覧（1日）	・次年度自動車図書館巡回日程通知広報準備 ・小学校等新入生新規カード作成、取りまとめ通知 ・特別整理期間（12～14日） ・蔵書点検実施（4交流センター図書室 12～14日） ・不要図書リサイクル事業（公共施設向けリサイクル）（14日）	・広報4月号締切り（14日）
3月	・アルス協議会 ・次年度新規ボランティア説明会 ・会計年度任用職員業務等説明会	・目標指標アンケート実施 ・新聞廃棄（廃棄年度1・2月分）	・ファーストブック講座募集・実施 ・次年度蔵書点検に伴う特別休館、特別貸出し広報準備	・広報5月号締切り（未定） ・4月勤務割振表配付 ・5月勤務割振表配付

【展示テーマ】

・4～6月：さよなら平成 新しい時代へ ・7～9月：いろのかけらはいったいどこへ…？ ・10～12月：ファイト！ ・1～3月：われはロボット。

【図書館おはなし会】 ・おはなしぶんぶん（赤ちゃん向け） 毎月木曜日及び日曜日各1回 10：30～10：50

【ボランティア活動】

①地域資料ボランティア（毎週水曜日） ②修理ボランティア（毎週火・水曜日） ③音訳ボランティア（月間3回）

④点訳ボランティア（毎月第3木曜日） ⑤国際化サービスボランティア（随時） ⑥配架ボランティア（随時）

⑦お話しボランティア（毎週土曜日 15：00～ 第5土曜日がない月は日曜日）

・グループスイミー公演 6月16日（土）11：00～12：00 ・パネルシアターかくれんぼ公演 7月7日（土）11：00～12：00

・ゲキダン羊毛公演 年数回 ・NPO法人チャリティーサンタつくば支部公演 年数回

⑧児童サービスボランティア（毎月第1水曜日）

⑨地域文化ボランティア ・おとなのためのブックトーク（第3土曜日 10：00～） ・いとをかし古典ブックトーク（第1土曜日 10：00～）

令和元年度つくば市立中央図書館蔵書点検報告書

1 実施概要

- (1) 目的 中央図書館及び自動車図書館に所蔵している全資料について点検を行い、資料の実際の所蔵状態を確認する
- (2) 実施期間 令和元年6月11日(火)～令和元年6月14日(金)
- (3) 点検対象 ①中央図書館 書架及び保存書庫の全資料(視聴覚資料含む)
②自動車図書館 BM 書庫及び自動車図書館車積載の全資料
- (4) 点検者 中央図書館職員、図書館専門員、臨時職員
- (5) 点検機器 ハンディターミナル(全26台)

2 蔵書点検結果

- (1) 不明資料点数(2018年6月9日から2019年6月10日までの間に不明となった資料の総数)

所蔵館	所蔵数(点)	不明資料数(点)	不明率(%)
中央図書館	273,170	536	0.20
自動車図書館	39,890	28	0.07
総数	313,060	564	0.18

(2) 資料区分別詳細

① 中央図書館

資料区分	点検対象 (点)	不明資料数 (点)	不明率 (%)
一般図書	137,981	272	0.20
文庫	15,708	32	0.20
ヤング (コミック, 文庫含む)	8,699	50	0.57
参考図書	5,772	16	0.28
地域資料	4,793	7	0.15
市政資料	1,503	2	0.13
教科書	361	3	0.83
児童図書	38,338	60	0.16
紙芝居	1,937	1	0.05
絵本	23,303	14	0.06
外国語一般	7,486	14	0.19
外国語児童	1,309	2	0.15
外国語絵本	1,583	8	0.51
視聴覚資料	13,448	2	0.01
雑誌	8,356	50	0.60
児童雑誌	2,593	3	0.12
合計	273,170	536	0.20

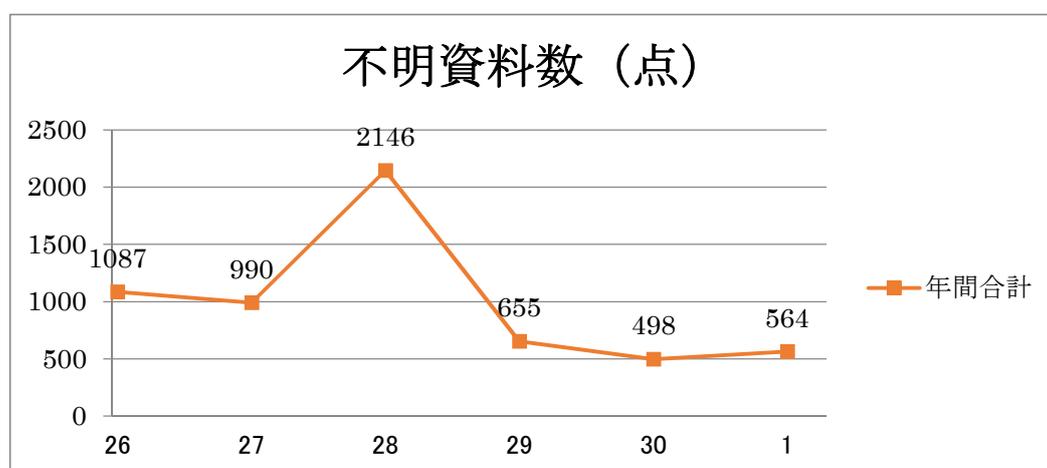
②自動車図書館

資料区分	点検対象 (点)	不明資料数 (点)	不明率 (%)
一般図書	13,543	7	0.05
児童図書	26,347	21	0.08
合計	39,890	28	0.07

3 蔵書点検と点検結果について

例年、蔵書点検は、6月に4日間程度臨時休館し行っている。平成29年度は、図書館情報システムの更新に伴い長期休館が必要であったことから、年間の開館日数を確保するため、システムの更新作業と並行して、臨時休館中の9月に蔵書点検を行った。

平成30年度の実施時期が例年より3か月遅くなったことから、平成30年度の蔵書点検からの期間が例年の12か月間から9か月間へと短くなっている。そのため、平成30年度は不明資料の数が例年よりも減少したものと考えられる。



4 不明資料対策について

全国の公立図書館において、不明資料を解消することは共通の課題となっている。

当館においては、持ち去りが多いと思われるジャンル、シリーズ等の資料を書庫で保管したり、人気の高い図書を職員の目に付きやすいカウンターの前に展示したり、人気雑誌の最新号をカウンター内で保管するなどの対策をとっている。また、利用者へのモラルやマナー向上の契機となることを期待して、蔵書点検の結果をホームページに掲載している。

持ち去り防止のための効果的な対策としては、ICタグによる資料管理の手段があるが、機器等の設置にかかるコストや、施設の状況などを考えると現状での導入は困難である。今後も、利用者に対してポスターなどでの啓発を行い、地道に注意喚起していくことが重要であると思われる。

つくば市立図書館サービス指標について

図書館の運営状況については、図書館法第7条の3及び文部科学省告示「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に図書館サービスその他図書館運営に関する適切な指標を選定し、目標を設定するとともに、自ら点検・評価を行い、公表に努めなければならない旨が明記されています。このことを踏まえ、つくば市立中央図書館では平成26年度に、図書館の運営に関して点検・評価を行うため、平成29年度を目標年度とした平成27年度から3か年における取組項目及び評価指標を定め、点検・評価を実施してきました。今回、3か年が経過したことから3年後(2020年度)を目標年度とした新たな指標を定め、毎年、点検・評価を実施し、その結果を公表することによって市民の図書館事業に対する理解を深めるとともに、図書館の健全な発展と図書館サービス向上に努めます。

平成30年度指標に対する実績評価

指標の目標年度 2020年度

評価期間 2018年度～2020年度

1 市民サービスに必要な資料を確保し、提供することに関する指標（4項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	H30年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		平成29年度実績				
1-1	所蔵資料点数	474,702点	490,000点	476,371点	97.22%	利用者の要望や地域の実情に留意しつつ計画的に多様な所蔵資料の整備を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	司書資格を有する職員で構成する図書選定委員会を毎週開催し、市民からのリクエストも含めた図書購入について検討、良質な図書の収集に努めた。中央図書館の所蔵スペースでは、これ以上所蔵資料点数を増やすことが困難であるため、4交流センターへの配置変えを含めて資料の充実を図りたい。					
1-2	個人貸出冊点数(視聴覚資料含む)	1,302,032点	1,450,000点	1,404,376点	96.85%	利用者の多様な要求に応えるよう努め、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	貸出点数は、人口増、開館時間延長及び地域交流センターへの取寄せサービス拡充のため伸びている。読書推進及び情報発信に努め、サービスの維持向上を図りたい。					
1-3	視聴覚資料貸出点数	69,311点	85,000点	72,522点	85.32%	視聴覚資料は1点当たりの購入が高額となるため、資料の厳選に努めながら計画的に整備し、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	視聴覚資料の貸出は、インターネット等の普及のため減少傾向である。しかし、個人貸出冊点数同様、目標には達しないまでも増加した。1点当たりの購入金額が高価になることから、利用状況等を踏まえながら資料の厳選に努め、資料の充実と有効活用を図りたい。					
1-4	市民一人当たりの貸出点(冊)数	5.6点	6.0点	6.0点	100.00%	中央図書館と4図書室の連携を図るとともに、自動車図書館を活用し、市民一人当たりの貸出点数の増を図り、市内全域における図書館サービスの充実を目指す。
評価	絵本等利用の多い子育て層の人口が増えているためか、目標を達成することができた。サービスステーション、所蔵資料の質を維持向上して、今後も利用増に努めたい。					

2 市全体へのサービスに関する指標（10項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	H30年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		平成29年度実績				
2-1	新規登録者数	5,939人	6,500人	6,624人	101.91%	転入者や図書館未利用者等に対するピーアールに努め、登録者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
評価	自動車図書館のステーションとなる小学校の新一年生に対して学校を通じて図書館利用カードを発行するなどして登録者数の増を図った結果、子育て世代の転入が増えていることもあり、目標を達成することができた。					
2-2	図書館利用カード利用者数	30,579人	33,500人	31,600人	94.33%	利用しやすい図書館運営に努め、より多くの市民に図書館資料の提供を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
評価	新規登録者数の増や来館者数の増のためか、前年度より約1,000人増加したが、目標達成には至らなかった。引き続き、利用しやすい図書館運営に努め、多くの市民の図書館活用の促進を図っていきたい。					
2-3	来館者数	514,588人	580,000人	571,642人	98.56%	利用しやすい図書館運営に努め、来館者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
評価	平成30年度は土・日曜日も午後7時までの開館延長をしたが、目標を達成することができなかった。イベントの開催や貸出利用者の増により、来館者増を図りたい。					
2-4	年間開館日数	280日	293日	290日	98.98%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用の促進を目指す。
評価	祝日の特別開館等により開館日数の増を図ったが、目標の達成までは至らなかった。館内整理日や祝日開館の振替休館の見直し等により、日数増を図りたい。					
2-5	年間開館時間	2,446時間	2,760時間	2,731時間	98.95%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用促進と利便性の向上を目指す。
評価	開館時間延長を行ったが、開館日が目標値に達しなかったこともあり、開館時間も目標を達成できなかった。開館日数を増やすことで目標達成を図りたい。					

No.	目標指標	参考値	目標値	H30年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		平成29年度実績				
2-6	返却窓口への返却冊数	111,526冊	130,000冊	130,644冊	100.50%	ブックポスト等を設置することで利用者の利便性の向上に努め、市民の利用の促進を目指す。
評価	TX沿線の人口増やブックポスト設置の浸透のためか、目標を達成することができた。今後も利用の増加が見込まれるため、サービスステーションの位置や配送頻度について検討を続けたい。					
2-7	予約件数	106,252件	120,000件	125,589件	104.66%	図書館窓口のほか図書館ホームページからのインターネット予約の充実を図るとともに、4図書室等を活用した迅速な予約本の貸出サービスに努め、市民の利用の促進を目指す。
評価	平成30年度から4交流センターでの配架本の受取予約を開始したため、件数が増加した。今後も市民サービスの維持向上を図りたい。					
2-8	図書館ホームページへのアクセス件数(簡易検索の検索件数)	369,210件	390,000件	362,418件	92.93%	図書館ホームページの内容充実と分かりやすい情報発信に努め、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
評価	OPACのトップページで検索をした件数であり、詳細検索等は含まない。予約件数は増加しているが、検索数は増加しなかった。読書推進活動から本への興味を増し、件数増につなげたい。					
2-9	図書館情報紙の発行回数	4回	6回	4回	66.67%	図書館情報紙「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」など、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
評価	図書館情報紙「ヨモッカ」及び「こどもヨモッカ」を年2回ずつ発行しているが、紙面の作成は職員の負担が大きく、発行回数は増やせなかった。負担の少ない簡易な内容の情報紙の発行も検討し、目標達成を図りたい。					
2-10	ボランティア等によるおはなし会等開催回数	84回	100回	89回	89.00%	定期的におはなし会等を開催することで、本に関する関心を高め、読書推進を目指す。
評価	年度途中から新規ボランティア団体が活動を始めたが、目標は達成できなかった。月1回の定例的なおはなし会を設けることで、回数増を図りたい。					

3 高齢者、障害を持った方及び外国の方へのサービスに関する指標（5項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	H30年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		平成29年度実績				
3-1	大活字本の所蔵冊数	2,478冊	2,700冊	2,582冊	95.63%	大活字本の計画的な蔵書に努め、高齢の方、障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
評価	計画的に購入を行って所蔵数を増やしているが、目標値には至らなかった。読書バリアフリー法が制定され、また高齢者も増えているため、今後も計画的な蔵書構築に努めたい。					
3-2	大活字本の貸出冊数	1,874冊	2,300冊	2,369冊	103.00%	資料の充実とともに、大活字本コーナーの分かりやすい表示やピーアールに努め、高齢の方や障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
評価	大活字本の周知が進んだためか、目標を達成することができた。蔵書の質を高め、貸出冊数の増加を図りたい。					
3-3	外国語資料の所蔵点数	10,213冊	11,000冊	10,543冊	95.85%	外国語資料の蔵書数を増やし、多言語サービスの向上を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	予算配分があるため、増加はしたが目標には達しなかった。外国人居住者数は今後も増加見込みであるため、引き続き外国語資料の購入予算増や、積極的な寄贈の受入れにより、所蔵点数を増やしていきたい。					
3-4	外国語資料の貸出冊数	7,190冊	8,500冊	10,466冊	123.13%	外国語資料コーナーの配架や外国語による掲示等の充実を努め、外国語資料の貸出増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	外国語資料展示のイベントを行ったところ、一般図書も児童図書も絵本も平均的に貸出冊数が増加した。今後も外国語資料を紹介するイベントを続け、維持向上を図りたい。					

No.	目標指標	参考値	目標値	H30年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		平成29年度実績				
3-5	点字資料の所蔵点数	214点	230点	224点	97.39%	点訳資料の作成及び収集に努め、所蔵点数増を図り、障害を持った方への図書館サービスの充実を目指す。
評価	点訳ボランティアによる点字資料の作成が行われているが、目標には至らなかった。点訳ボランティアによる点字資料の作成を継続的に支援するとともに計画的に点字資料を購入することで、サービスの充実を図りたい。					

4 地域支援サービスに関する指標（3項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	H30年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		平成29年度実績				
4-1	自動車図書館利用人数	11,016人	14,000人	13,279人	94.85%	自動車図書館のステーションの見直しや蔵書の充実を図り、適切な周期の運行に努め、図書館サービスの充実を目指す。
評価	2台の自動車図書館で47か所のステーションを2週間に一度の割合で巡回しているが、目標には達しなかった。平成31年度からはつくば市役所ステーションに土曜日も運行を行うこととした。市民の生活圏が広域なつくば市において自動車図書館は重要な役割を担っており、ステーションの見直しや情報発信で更なる拡充を図りたい。					
4-2	自動車図書館貸出冊数	44,860冊	55,000冊	50,226冊	91.32%	自動車図書館資料の充実に努め、利用者のニーズに応じた本を積載して各ステーションを巡回することで、貸出冊数の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	自動車図書館の利用者を増やすと共に、利用者層を反映させた図書の購入、積載図書の選書を行うなど資料の充実を図り、自動車図書館での貸出増加を図りたい。					
4-3	相互貸借貸出冊数	1,339冊	1,500冊	1,198冊	79.87%	利用者が求める資料で中央図書館が所蔵していない資料について、他の図書館と連携して利用者に提供することで、図書館サービスの充実を目指す。
評価	図書のニーズが減少しているためか、制度が周知されていないためか、利用者のニーズが当館資料で満たしているためか、相互貸借の貸出冊数は減少傾向である。制度周知を図ると共に、潜在的ニーズも掘り起こせるよう情報提供をしたい。					

5 課題解決支援、ボランティアとの連携、利用者の情報活用能力に関する指標（3項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	H30年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		平成29年度実績				
5-1	レファレンス受付件数	1,630件	1,800件	1,808件	100.44%	レファレンス能力の向上とレファレンスサービスのピーアールに努め、利用者の情報や知識の獲得、調査研究や調べ学習を支援し、図書館サービスの充実を目指す。
評価	件数は目標に達した。研修への参加や職場内研修の時間を確保し、職員のレファレンス能力の向上を図り、次のレファレンスにつなげていきたい。					
5-2	ボランティア登録者数	132人	160人	142人	88.75%	より多くの方にボランティア活動に参加していただけるよう、多様なボランティア活動の機会や場所を提供を図る。また、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
評価	平日活動のグループが多いため、就業している方はなかなか参加できず、登録できない状態である。新たなボランティア活動を依頼、活動日の見直しを図りたい。					
5-3	ボランティア活動者数	1,447人	2,200人	1,544人	70.18%	多様なボランティア活動の機会や場所を提供することで、市民のボランティア活動を支援するとともに、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
評価	ボランティア活動日が月1日、週1日など固定されていることが多く、活動したくてもできない状態である。土曜日日曜日を含め、柔軟に活動できるような体制作りを行いたい。					

6 学校図書館等支援に関する指標（6項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	H30年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		平成29年度実績				
6-1	団体貸出利用回数	120回	150回	201回	134.00%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等の団体貸出利用団体の増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
評価	子育て世代の人口増で読書推進団体が活性化しているためか、目標を達成することができた。団体貸出の周知と共に、団体貸出が利用しやすいよう環境を整えたい。					

No.	目標指標	参考値	目標値	H30年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		平成29年度実績				
6-2	団体貸出図書冊数	9,704冊	15,000冊	12,392冊	82.61%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等への団体貸出しの利用増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
評価	団体貸出の利用回数は目標を達成したが、貸出冊数は目標に達さなかった。魅力ある図書を揃えると共に、選書、貸出、返却のしやすい環境作りを進めたい。					
6-3	社会科見学等の図書館見学受入回数	6回	10回	11回	110.00%	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
評価	小学生の図書館見学事業。スケジュール調整を行い、積極的に受入を行った結果、達成することができた。申込みの有無に左右されてしまうが、継続して受入れることで読書推進を図りたい。					
6-4	職場体験学習受入人数	30人	40人	23人	57.50%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
評価	中学2年生(義務教育学校8年生)を対象に図書館の業務を体験してもらう事業。図書館の利用者数が増える夏休み期間に受入れることが多く、人員配置が課題である。					
6-5	ジュニア図書館員受入人数	87人	75人	51人	68.00%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の向上を目指す。
評価	5年生、6年生を対象に図書館の業務を体験してもらう事業。図書館開館時間延長により、人員配置の関係から開催回数を減らしたため、達成することができなかった。					
6-6	学校図書館司書教諭補助員等の研修参加人数	89人	170人	86人	50.59%	学校図書館との連携を強化し、司書教諭や司書教諭補助員の研修等を支援することで、読書活動の推進を目指す。
評価	年度初めに実施される司書教諭・司書教諭補助員等の全体研修会の参加人数。研修を実施している教育指導課及び各学校と連携して、司書教諭・司書教諭補助員のスキルの向上を支援し、児童・生徒の読書推進を図りたい。					

7 市民満足度に関する指標 (1項目)

No.	目標指標	参考値	目標値	H30年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		平成29年度実績				
7-1	利用満足度調査の満足度	83%	80%以上	79%	98.75%	図書館利用者の満足度を把握し、利用者の声をサービスに反映させることで図書館運営の向上を目指す。
評価	年度末の3月に図書館内で利用者に対して実施した満足度調査の結果。「満足」と「やや満足」と回答した方の合計割合は目標を下回った。人口増に対する施設の限界を感じるが、改善できることを見つけ、向上に努めたい。					

平成30年度つくば市立中央図書館 利用者満足度調査報告書

実施について

(1) 調査の目的

中央図書館における利用の実態や満足度を把握し、今後の図書館運営に生かすため、利用者満足度調査を実施した。

(2) 調査対象者

10代以上のつくば市立中央図書館利用者

(3) 調査期間

平成31年3月12日(火)～3月24日(日)(18、21日を除く11日間)

(4) 調査方法

調査期間中、中央図書館内正面入り口、中央カウンター及び視聴覚カウンターの3カ所に調査用紙と回収箱を設置し、調査を行った。

(5) 有効回答数

207

利用者満足度調査結果概説

平成30年度から駐車場を1時間無料から2時間無料とし、また土日の開館時間を2時間延長したため、開館時間の満足度上昇が見られた。一方で、本年度回答した利用者は館内利用より資料の貸出が目的であり、滞在時間の長期化は現れなかった。

問5の図書館サービス各項目別では、ほぼ全ての項目で80%超がおおむね満足以上の回答をされ、図書館運営については好意的にとらえられている。しかし、「所蔵資料の数や種類」については30%近くが不満を抱いている。施設の蔵書量は既に限界を迎えているが、今後現人口の4分の1近く人口が増加する推計であり、資料提供が課題である。人口分布の変化も加味し、サービス向上に努める必要がある。

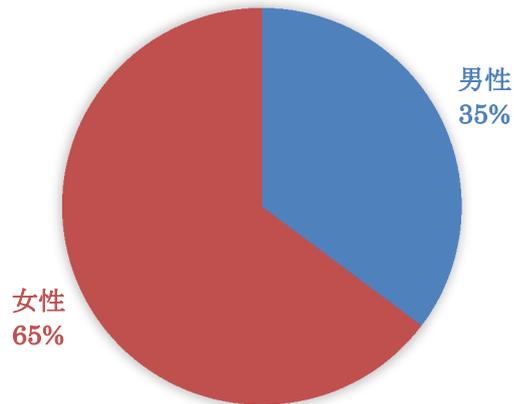
総合的に見た図書館の満足度は、平成29年度の83%から微減し、79%となった。費用対効果を検討しつつ、今後もサービス向上のため利用者目線で図書館運営を行っていきたい。

満足度調査結果

性別・年齢・利用カード・住所

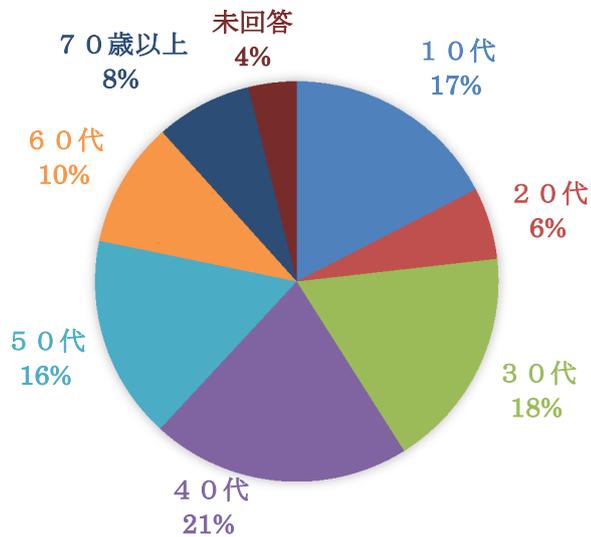
回答者は、女性が3分の2を占めた。年齢の割合は、20代及び70歳以上が少なかった。居住地別では、市内在住者が95%以上であった。

性別



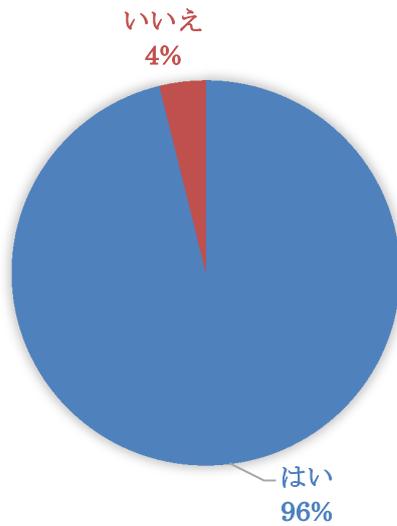
性別 (人)		
男	女	合計
73	134	207

年齢



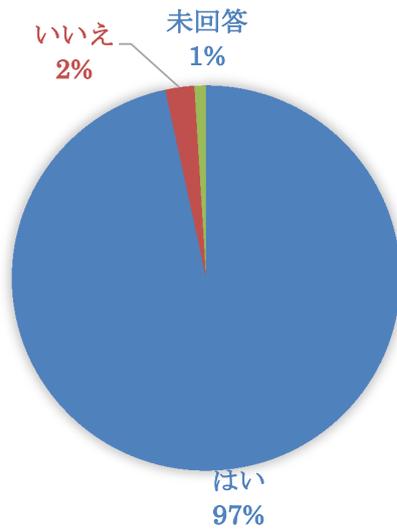
年齢 (人)								
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	未回答	合計
36	12	37	43	34	21	16	8	207

図書館の利用カードを持っていますか？



図書館の利用カードを持っていますか。(人)		
はい	いいえ	合計
199	8	207

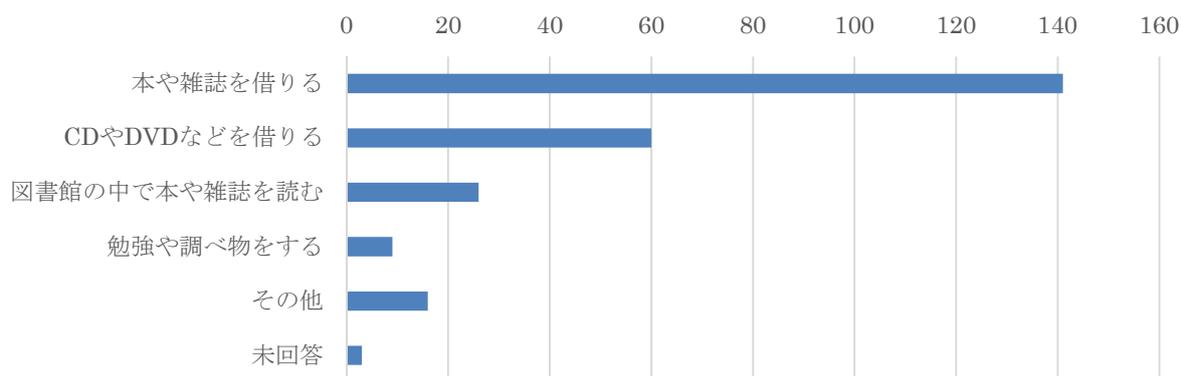
お住まいはどちらですか？



お住まいはどちらですか (人)			
つくば市内	つくば市外	未回答	合計
200	5	2	207

つくば市外利用者数 (人)	
土浦市	2
常総市	1
牛久市	1
東京都	1

問1 今日図書館に来た目的の中で一番近いものを選んでください。

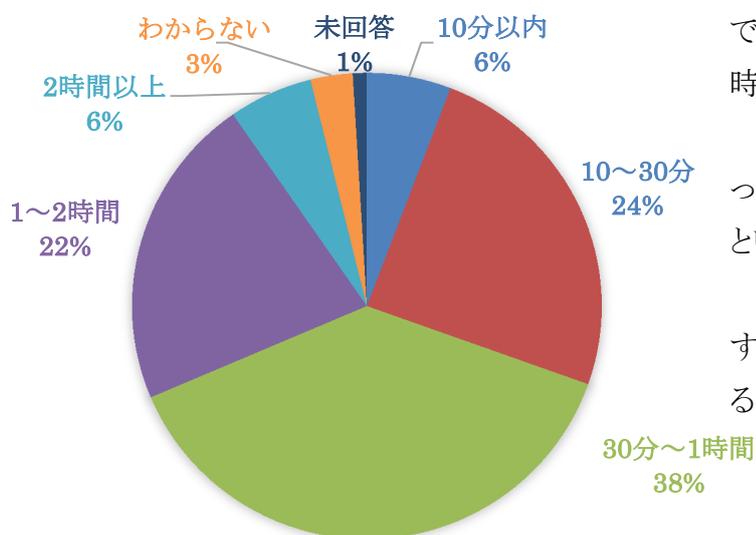


本や雑誌を借りる	CDやDVDなどを借りる	図書館の中で本や雑誌を読む	勉強や調べ物をする	その他	未回答	合計
141	60	26	9	16	3	255

問1では図書館の利用目的について尋ねた。最も多かったのは、「本や雑誌を借りる」で7割近く、「CDやビデオなどを借りる」と合わせると82%となる。一方で、「図書館の中で本や雑誌を読む」、「勉強や調べ物をする」など滞在を目的とする利用者は15%しかいなかった。

その他	(人)
ファーストブック講座のため	5
ボランティア説明会のため	5
資料の返却のため	2
美術館に来たため	1
視察のため	1

問2 あなたが図書館にいた時間(あるいは予定の時間)は次のどれですか。

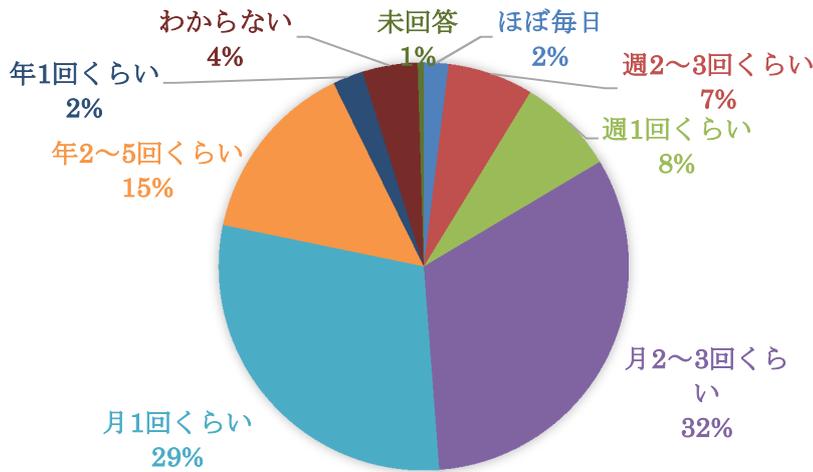


「30分から1時間」が最も多く、次いで、「10分から30分」、「1時間から2時間」の順に多い。

昨年から2時間まで駐車場無料となったが、7割近くは1時間以内の滞在という結果となった。

問1の結果のとおり、滞在を目的とする利用者が少なかったことも関係すると思われる。

問3 あなたは、どのくらいの頻度でつくば市の図書館・図書室・アルス号を利用しますか。(1つのみ)

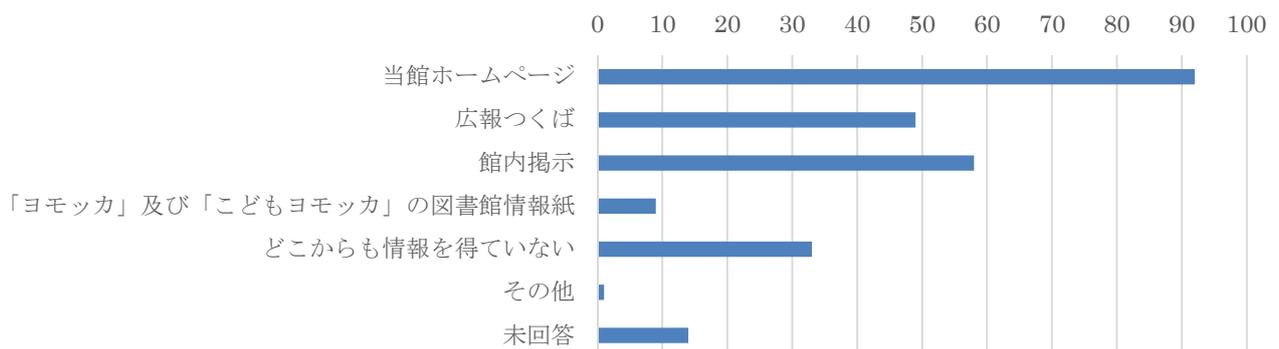


頻度	人数
ほぼ毎日	4
週2〜3回くらい	14
週1回くらい	16
月2〜3回くらい	67
月1回くらい	61
年2〜5回くらい	30
年1回くらい	5
わからない	9
未回答	1
合計	207

「月に2〜3回くらい」が32%と最も多く、次いで「月1回くらい」が29%となった。昨年度に比べると、「週1回くらい」が20%下がり、「月1回くらい」が13%増加している。

貸出期間の2週間に合わせて来館すると月2〜3回になるので、それ以上の頻度で訪れていれば定期利用者であるとすると、その割合は49%である。

問4 中央図書館に関する情報を主に何から得ていますか(複数回答可)



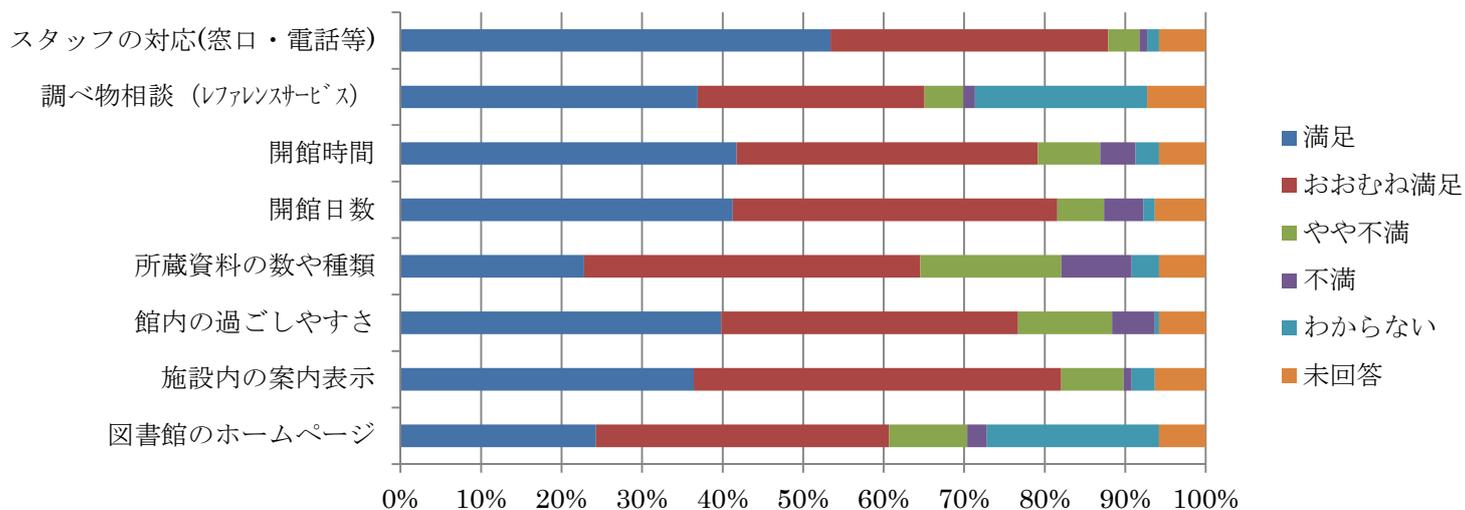
当館ホームページ	広報つくば	館内掲示	「ヨモッカ」及び「こどもヨモッカ」の図書館情報誌	どこからも情報を得ていない	その他	未回答	合計
92	49	58	9	33	1	14	256

情報収集源の割合は例年とほぼ変わっていない。

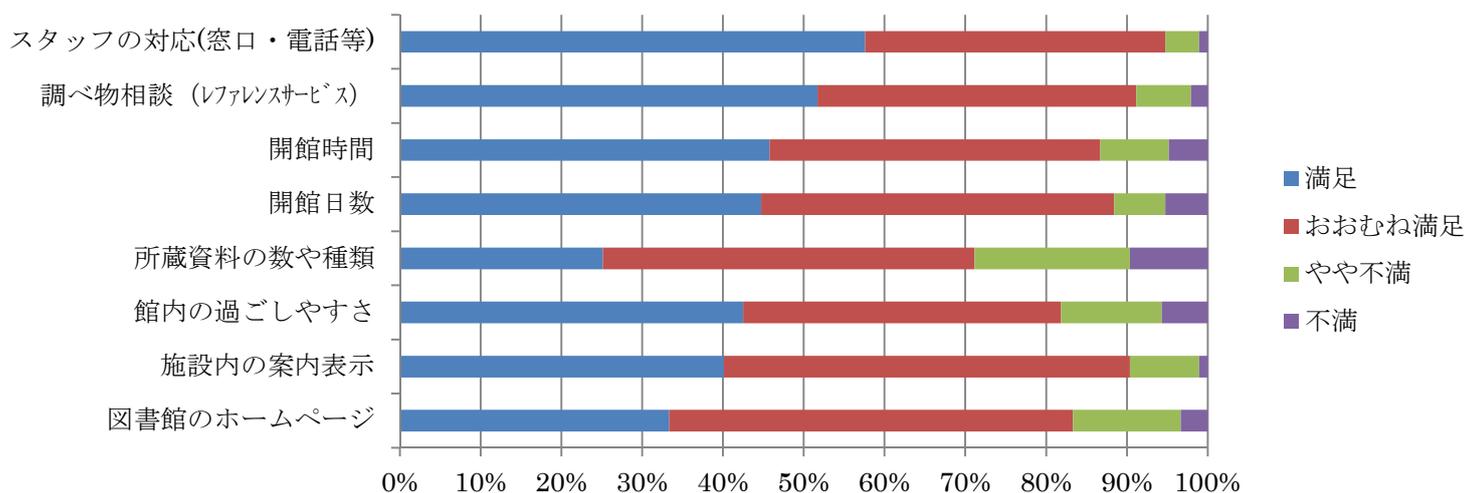
ホームページでの情報収集が44%と最も高い。「どこからも情報を得ていない」が昨年の25%から15%に減少した。

問5 図書館サービスについてうかがいます

<全体>



<「未回答」「わからない」を除く>



○スタッフの対応(窓口・電話)

昨年に引き続き、「満足」、「おおむね満足」の割合が合わせて 90%を超えており、接遇は高水準を保っている。個別のコメントでも、おおむね好意的な意見が寄せられている

○調べ物相談(レファレンスサービス)

レファレンスサービスを必要としない利用者も多いためか、3割近くが「わからない」「未回答」となっている。

「満足」、「おおむね満足」の割合は 90%を超えている。今後も、レファレンスサービスの広報など、利用拡大に努める必要がある。

○開館時間

「満足」、「おおむね満足」の合計は 86%と、昨年より 10%上がった。平成 30 年 4 月 1 日から、土日の閉館時間が 17 時から 19 時になったため、満足度が上がったと思われる。一方で、個別のコメントでは、朝 9 時から開けてほしい、祝日 18 時まで開けてほしいといった声も寄せられている。

○開館日数

「満足」、「おおむね満足」の合計は 88%となっている。個別のコメントでは、休館日数が多い、祝日は全て開館して欲しいといった声が寄せられている。

○所蔵資料の数や種類

「満足」、「おおむね満足」の合計は 71%にとどまった。市全体で人口が増加しており、資料への要望が増えていると思われる。限られたスペースの中で、所蔵資料、特に開架書架の資料を充実させるのは喫緊の課題である。

○館内の過ごしやすさ

「満足」、「おおむね満足」の合計は 81%であった。個別のコメントでは即時対応し難い設備面の不満が寄せられているため、長期的な改善計画を立てる必要がある。

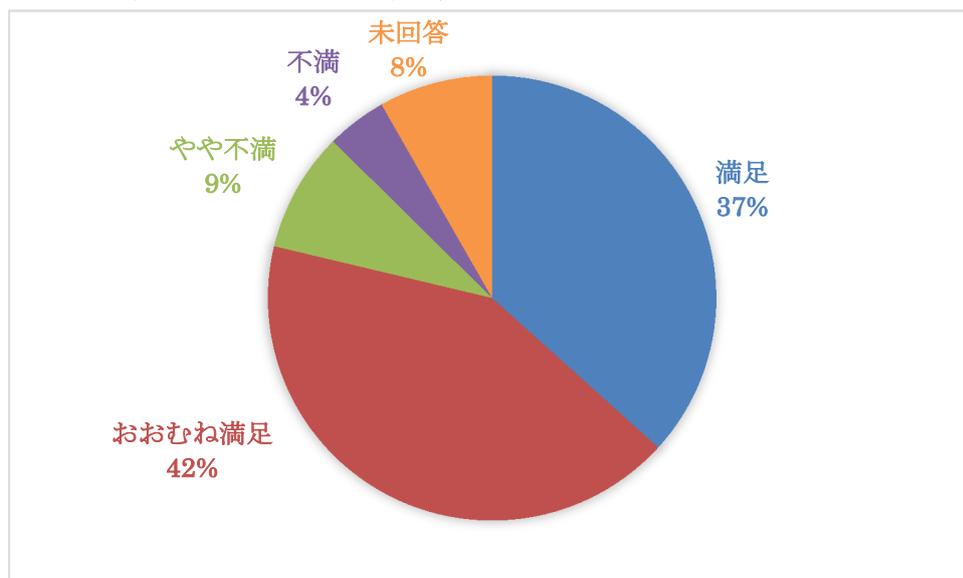
○施設内の案内表示

「満足」、「おおむね満足」の合計が 90%であった。特に認知度が低いわけでも、個別のコメントが寄せられているわけでもなく、施設内の案内については特筆すべきところはないと思われる。

○図書館のホームページ

「満足」、「おおむね満足」の割合は 83%である。しかし、3割は「わからない」「未回答」となっており、十分満足している利用者も3割程度であるため、ホームページの改善及びアピールを続ける必要がある。

問6 総合的に見て図書館にどれくらい満足していますか



(人)

満 足	おおむね満足	やや不満	不 満	わからない	未回答	合計
76	87	18	9	0	17	207

総合的な評価として、79%が「満足」、「おおむね満足」という回答であった。今後の業務にあたりサービス向上に努めたい。

満足度調査に御協力いただき、ありがとうございました。
結果を活かし、図書館サービスの改善に努めたいと思います。

中央図書館